

Art WEEK TOKYO 東京 NOVEMBER 5-9, 2025

www.artweektokyo.com

プレスリリース：2025.09.22

一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム

報道関係者各位

鈴木京香が 2025 年「アートウィーク東京」のアンバサダーに就任！ 各種プログラムも事前予約の受付開始&AWT BUS ルートも公開

2025 年 11 月 5 日（水）～9 日（日）の 5 日間にわたり開催する「アートウィーク東京（略称：AWT）」のアンバサダーに、俳優・鈴木京香さんが就任しました。



国内外の様々な展覧会やアートフェアに足を運び、自身でも美術作品をコレクションするなど、熱心なアートファンとして知られる俳優の鈴木京香さん。AWT のアンバサダーを務めるのは今年で 3 回目です。2025 年 10 月 29 日（水）に開催する記者発表会にも登壇します。

鈴木京香さんコメント

今年もアートウィーク東京のアンバサダーをさせていただき喜びを感じています。晩秋にアートというフィルターを通して、東京の街を眺めてみませんか。そして東京の街を楽しみながら、自分だけのアートを見つけてみませんか。皆さまのご参加を心からお待ちしています。

鈴木京香

俳優。1989年に映画『愛と平成の色男』でデビュー。以降、NHK朝の連続テレビ小説『君の名は』主演をはじめ映画、テレビドラマ、舞台で数多くの作品に出演し、幅広い役柄を演じている。第28回日本アカデミー賞最優秀主演女優賞をはじめ受賞歴も多数。近年の作品にNHK大河ドラマ『鎌倉殿の13人』（2022）、映画『グランメゾン・パリ』（2024）、ドラマ『PJ〜航空救難団〜』（2025）など。2025年11月28日に映画『栄光のバックホーム』が公開予定。アートや建築への造詣が深く、日本建築学会文化賞を受賞。

アートウィーク東京について

アートウィーク東京（AWT）は、東京の現代アートの創造性と多様性を国内外に発信する年に一度のイベントです。いわゆる「メイン会場」はありません。都内50以上の美術館・ギャラリーがそれぞれ開催する展覧会のほか、AWT独自のプログラムや関連イベントなどを自由に巡ることで、東京のアートやカルチャーの「いま」に触れていただけます。

各種プログラムの予約受付も開始

AWT TALKS シンポジウム

現代社会におけるアートの位置づけや批評的アプローチについて議論するシンポジウム。2025年のテーマは「WHAT'S GOING ON（愛のゆくえ）——アートはいかにして現実をとらえるか」です。

テーマの由来は、ベトナム戦争に対する世界的な反戦・平和運動がピークを迎えていた1971年にリリースされたマーヴィン・ゲイのアルバム『What's Going On』。世界の出来事が混乱と矛盾に包まれるこの時代に、「私たちはアートに何を期待できるのか」「アートは何を語ることができるのか」を議論します。



2024年度のAWT TALKS シンポジウムの様子

基調講演を行なうのは、グッゲンハイム美術館の副館長兼チーフキュレーターであり、2027年に開催される「ドクメンタ16」のアーティスティックディレクターに就任したナオミ・ベックウィスです。

詳細および事前申し込みは[こちら](#)から。

ミートアップ

現代アートをコレクションしたいあらゆる人を対象にした 3 セッション構成のプログラム。世界最高峰のアートフェア「アートバーゼル」とのコラボレーションのもと、アート鑑賞や購入の方法から世界のアート界の最新情報、コレクションの傾向までを立体的にとらえる手引きとなるツアーやトークを実施します。

会場：salon 港区南青山 6-4-30 emergence aoyama complex 2 階

会期・開催時間：11月5日（水）12:30～13:30、6日（木）16:00～17:30、7日（金）15:00～16:30

料金：参加無料、予約必須（定員あり）

詳細および事前申し込みは[こちら](#)から。



2024 年度の AWT TALKS ミートアップの様子

AWT ガイドツアー

アートコレクター初心者向けのガイド付きバスツアー。AWT 参加ギャラリーのほか、AWT の特別展「AWT FOCUS」やポップアップバー「AWT BAR」といった AWT プログラムを、キュレーターやスタッフの解説を聞きながら巡ります。

会場：AWT FOCUS（大倉集古館）など

会期・開催時間：11月7日（金）14:00～17:30、9日（日）15:00～18:00

料金：参加無料、予約必須（定員あり）

詳細および事前申し込みは[こちら](#)から。

キッズ・ユース向けガイドツアー＆ワークショップ

特別展「AWT FOCUS」を題材に「親子向け」「小学生向け」「中学生以上の方向け」の 3 種類のガイドツアー＆ワークショップを実施します。

会場：AWT FOCUS（大倉集古館）

会期：11月8日（土）、9日（日）

時間：10:30～17:00

料金：参加無料、予約必須（定員あり）

詳細および事前申し込みは[こちら](#)から。



2024 年度のキッズ・ユース向けガイドツアー＆ワークショップの様子

アート教育付き託児サービス

会期中は乳幼児を対象とした臨時託児室が「AWT FOCUS」会場の大倉集古館にオープン。本託児サービスは日英バイリンガル対応で、最大3時間まで有料で利用いただけます。

会場：AWT FOCUS（大倉集古館）

会期：11月7日（金）～9日（日）

時間：10:00～17:45

料金：時間制料金、予約必須（定員あり）



2024年度の託児サービスの様子

詳細および事前申し込みは[こちら](#)から。

TOKYO HOUSE TOUR

「TOKYO HOUSE TOUR」は、東京の街に佇む名住宅建築を巡る建築プログラム。東京に現存する住宅建築の保存継承、そして東京の暮らし全般に関心のある方たちに向け、2024年に始まりました。本年は、東京都心に建つ東孝光設計の住宅建築「塔の家」、そして自然が残る郊外に立つ住宅建築として伊東豊雄が設計した「花小金井の家」、「小金井の家」（現・ムジナの庭）を訪れます。企画監修は妹島和世です（協力：妹島和世、東理恵、ムジナの庭）。



伊東豊雄が設計を手掛けた「花小金井の家」
© Ohashi Tomio

詳細および事前申し込みは[こちら](#)から（受付開始は10月6日（月）を予定しています）。

無料シャトルバス「AWT BUS」 今年は直行便が登場



無料シャトルバス「AWT BUS」

今年は各エリアをまわる「巡回便」を7ルートに再編成。また、AWT FOCUS 会場（大倉集古館）と4会場（AWT VIDEO 会場、東京都現代美術館、東京都庭園美術館、東京オペラシティ アートギャラリー）をダイレクトに移動できる4つの「直行便」を新たに運行します。午前10時から午後6時まで運行し、どのバス停からも乗り降りは自由です。

リストバンドで展覧会割引！

美術館特別料金については[こちら](#)から。

- 各バス停を約 15 分間隔で巡回
- 施設によりバス運行時間と営業時間が異なる場合があります。最新の営業時間は各施設の公式サイトでご確認ください。
- ご利用の際には、各日の乗車日に各バス停または参加美術館に常駐している AWT スタッフから参加証をお受け取りください。
- AWT 参加証の提示により参加美術館の一部展覧会を割引料金で観覧できます。

※バス停や参加施設の詳細な位置情報は [AWT 公式サイト](#)にてご確認くださいませ。

SHIBUYA PARCO ART WEEK 2025 OPENING EVENT 「穴 - 2」

5

会場：渋谷 PARCO 10F PBOX 渋谷区宇田川町 15-1
会期：11月5日（水）
開催時間：20:30～23:00（パフォーマンスは 20:45～21:30）
料金：入場無料
参加方法など詳細は、後日渋谷 PARCO 公式 instagram にて発表
詳細は[こちら](#)から。

「松屋銀座 100 周年：つながる記憶、つづく未来」

松屋銀座が芸術との 100 年にわたる関わりを記念して開催するグループ展。12 名のアーティストが「つながる・つながる・つなげる」をテーマに新作を発表します。

会場：松屋銀座 VIP ラウンジ 中央区銀座 3-6-1
会期：11月1日（土）～9日（日）
開催時間：12:00～18:00（最終入館 17:30）
料金：無料、事前予約制（予約受付開始は 10 月 26 日、10 時から）
詳細は[こちら](#)から。

国際文化会館 「異種間クロストーク」

国際文化会館アートデザイン部門ディレクターの長谷川祐子がクロストークをモデレート。5 日は「アニメーション」、6 日は「AI と仏教」をテーマに開催します。

会場：国際文化会館 岩崎小彌太記念ホール 港区六本木 5-11-16
会期・開催時間：11月5日（水）15:00～16:00（開場：14:30）、6日（木）15:00～16:00（開場：14:30）
料金：一般 3,000 円、国際文化会館会員 2,000 円、学生 1,500 円、事前予約制（定員 100 名）
詳細は[こちら](#)から。

国立新美術館 「シンポジウム」

香港 M+ の協働キュレーションのもと、日本のアートシーンの革新的表現に光を当てる「時代のプリズム：日本で生まれた美術表現 1989-2010」展の開催に合わせシンポジウムを開催します。

会場：国立新美術館 港区六本木 7-22-2
会期・開催時間：11月7日（金）15:00～17:00
料金：展覧会チケットの半券で入場可
※詳細は 10 月上旬ごろに発表予定です。

開催概要

アートウィーク東京

名称：アートウィーク東京（欧文：Art Week Tokyo、略称：AWT）

会期：2025 年 11月5日（水）～11月9日（日） 10:00～18:00

会場：都内の参加美術館・ギャラリー、AWT FOCUS、AWT BAR ほか各プログラム会場

主催：一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム

提携：アートバーゼル（Art Basel）

特別協力：文化庁

アートウィーク東京モバイルプロジェクト

名称：アートウィーク東京モバイルプロジェクト

会期：2025 年 11月7日（金）～11月9日（日） 10:00～18:00

主催：東京都／アートウィーク東京モバイルプロジェクト実行委員会

料金

- AWT BUS の乗車無料。
- 参加ギャラリーの入場無料。参加美術館では AWT 会期中に限り所定の展覧会にて AWT 特別割引適用。
- AWT FOCUS の入場料（展覧会カタログ付）：一般 1,800 円（前売 1,500 円）、学生・子ども無料、一般ペア 2,800 円（前売のみ）、学生・子ども無料。

参加施設

参加施設および、各施設の展覧会情報は公式サイトからご覧いただけます。

<https://www.artweektokyo.com/exhibitions/>

コーポレートパートナー

オフィシャルパートナー：SMBC グループ

ホテルパートナー：オークラ東京

ビバレッジパートナー：ルイナール

メディアパートナー

リードメディアパートナー：フィナンシャル・タイムズ

The Art Newspaper

日本経済新聞社

Artsy

「アートウィーク東京」運営体制概要

アートウィーク東京は、アートバーゼルとの提携および文化庁の協力を受け、一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォームが主催します。また、都内のアートアクティビティの体験を創出する「アートウィーク東京モバイルプロジェクト」を、東京都とアートウィーク東京モバイルプロジェクト実行委員会の主催により実施します。

「アートウィーク東京モバイルプロジェクト」概要

東京都とアートウィーク東京モバイルプロジェクト実行委員会が主催。アートウィーク東京の会期中に都内各地に広がる主要なアートをスペースをつなぐ「AWT BUS」を運行するほか、会期前から会期中にかけて子どもや若者、アートコレクターを目指す方などを対象とする様々なプログラムの展開や、国内外のキュレーターを招聘したシンポジウムなどを通じて、幅広い鑑賞者層に対してアートアクティビティの体験機会を創出。国内のアートに対する関心の裾野拡大を目指します。実行委員は、片岡真実（森美術館館長）、小松弥生（東京国立近代美術館館長）、渡邊努（東京都現代美術館副館長）、塩見有子（NPO 法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT]理事長）、蜷川敦子（アートウィーク東京ディレクター／一般社団法人コンテンポラリーアートプラットフォーム代表理事）。

「アートバーゼル」概要

世界最高の規模と質を誇る近現代美術のアートフェア「アートバーゼル」。毎年、拠点となるスイスのバーゼルをはじめ、香港、マイアミビーチ、パリで開かれるアートフェアには、世界各地から大勢のアートファンや専門家が集まる。（公式サイト：<https://www.artbasel.com/>）

公式サイト <https://www.artweektokyo.com/>
Instagram <https://www.instagram.com/artweektokyo>
Facebook <https://www.facebook.com/artweektokyo/>
X <https://twitter.com/ArtWeekTokyo>
YouTube <https://www.youtube.com/@artweektokyo6594>

【過去のプレスリリースはこちらからご覧いただけます】

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/141413

報道関係のお問い合わせ

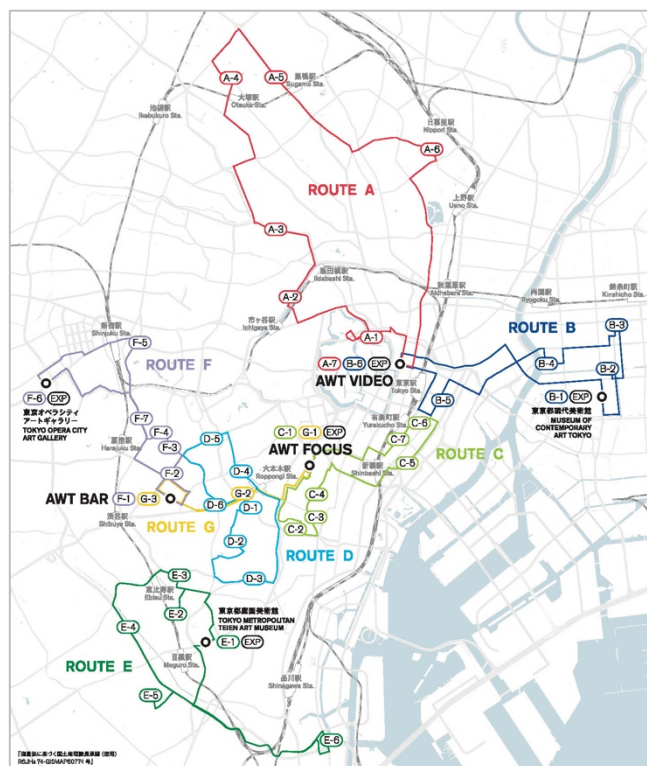
アートウィーク東京 PR 事務局（WAG, Inc.）

担当：会津・林・芳賀／TEL：03-5791-1500／Email：awt_pr@wag-inc.co.jp

参考資料：アートウィーク東京 バスルート

※バス停や参加施設の詳細な位置情報は AWT 公式サイトにてご確認ください。

<https://www.artweektokyo.com/bus/>



A ルート

- A-1 東京国立近代美術館
- A-2 ミヅマアートギャラリー
- A-3 ウェイティングルーム
- A-4 フィギュア | ミサコ&ローゼン
- A-5 XYZ コレクティブ
- A-6 スカイザバスハウス
- A-7 AWT VIDEO

B ルート

- B-1 東京都現代美術館
- B-2 カナワニギャラリー
- B-3 無人島プロダクション
- B-4 ハギワラプロジェクト
- B-5 アーティン美術館 | 小山登美夫ギャラリー
- B-6 AWT VIDEO

C ルート

- C-1 AWT FOCUS
- C-2 タケナガフ
- C-3 PGI
- C-4 ベース・ギャラリー
- C-5 資生堂ギャラリー | 東京画廊+BTAP
- C-6 ギャラリー小幡 | シャネル・ネクス・ホール
- C-7 銀座メゾンエルメス フォーラム

D ルート

- D-1 森美術館
- D-2 カイカイキキギャラリー
- D-3 ミサシギャラリー
- D-4 国立新美術館 | 日触コンテンポラリーアート
- D-5 スペースアン
- D-6 スノーコンテンポラリー

E ルート

- E-1 東京都庭園美術館
- E-2 東京都写真美術館
- E-3 MEM
- E-4 ポエティック・スケープ
- E-5 リーサヤ
- E-6 アノマリー | コウサクカネチカ | タクロウソメヤコンテンポラリーアート | スタンディングバイン

F ルート

- F-1 AWT BAR
- F-2 エスバス ルイ・ヴィトン東京 | ファーガス・マカプリ
- F-3 ワタリウム美術館
- F-4 ナンカアンダーグラウンド
- F-5 ケンカハシ
- F-6 東京オペラシティ アートギャラリー
- F-7 ギャラリー38

G ルート

- G-1 AWT FOCUS
- G-2 カヨコユウキ | コタロウスカガ | シュウゴアーツ | タカ・イシイギャラリー | タロウナス | ペロタン東京 | ユタカキクタケギャラリー | ユミコチバアンソニエツ
- G-3 AWT BAR

直行便

- EXP1 AWT FOCUS ⇄ AWT VIDEO会場 (大手町三井住友銀行東館)
- EXP2 AWT FOCUS ⇄ 東京都現代美術館
- EXP3 AWT FOCUS ⇄ 東京都庭園美術館
- EXP4 AWT FOCUS ⇄ 東京オペラシティアートギャラリー